

# 「2021年度 第2四半期決算概要」

2021年11月5日  
代表取締役社長 柴尾雅春

## 1. 2021年度2Q連結業績概要

## 2. 2021年度業績見通し

## 3. 中期経営計画見通し

# 要旨

## 第2四半期 業績概要

- 第2四半期は自動車減産・費用増等の影響があったが、**1台当たり搭載金額増加**や固定費管理徹底で**営業利益率10.4%を達成**

## 業績見直し 修正

- 原材料費等費用増加の状況を踏まえて通期業績を下方修正。**費用増・生産調整は年内に底打ちの兆しあり**
- 今期の**配当見込額は据え置き(62円/株)**

## 中期経営計画 見直し

- **定量目標(FY2024/3)は堅持**

## 1. 2021年度2Q連結業績概要

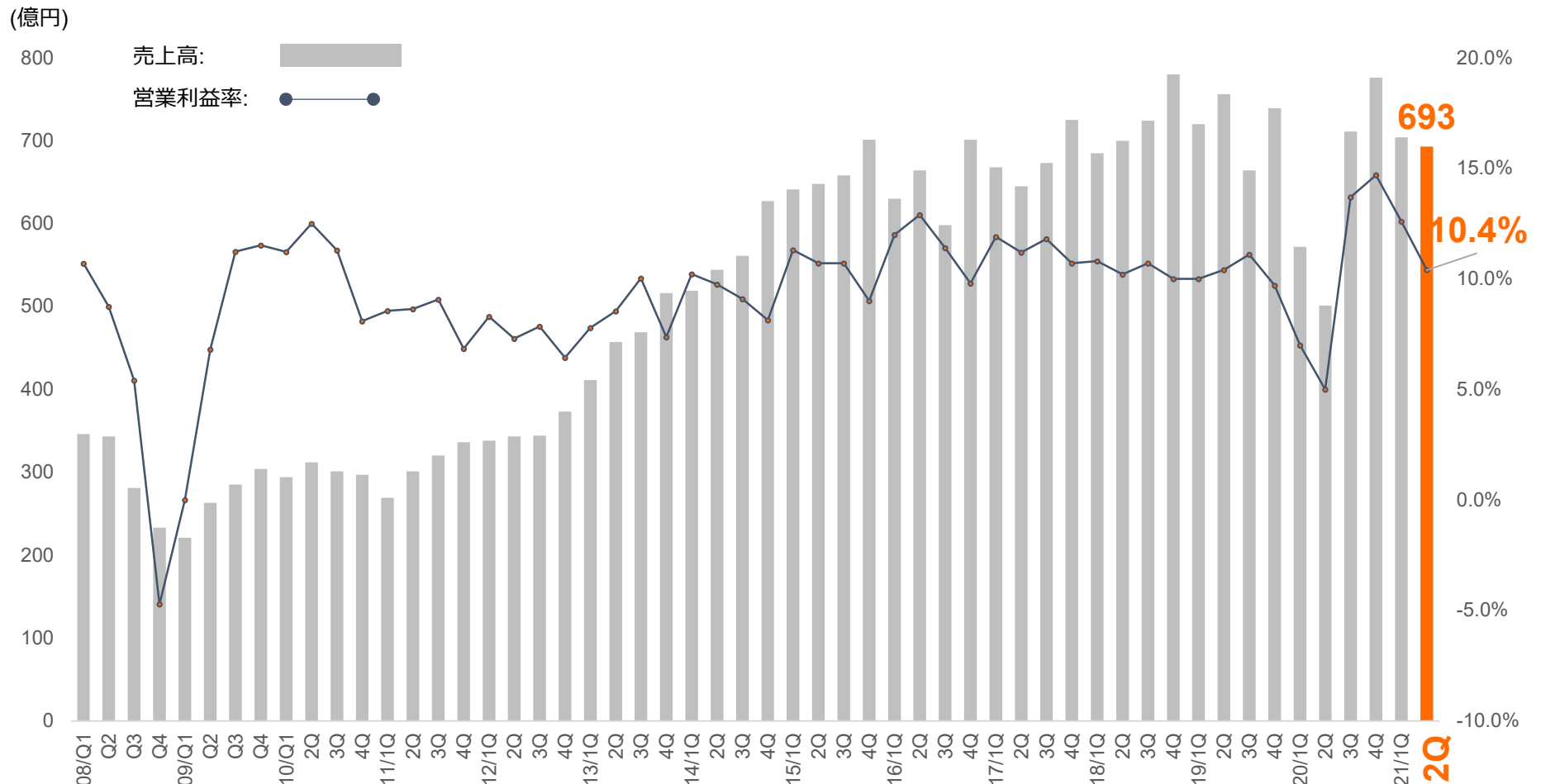
## 2. 2021年度業績見通し

## 3. 中期経営計画見通し

# 1. 決算ハイライト

## コロナ前(2019年度2Q)比とほぼ同水準の営業利益率の水準を達成

- 前年同期比で、売上高は38%増・営業利益は187%増加
- 自動車減産や北米での原材料調達コスト増により、コロナ前(2019年度2Q)比で、減収減益なるも利益率では同水準



## 2. 2021年度2Q連結業績概要

# 費用増加・自動車減産の影響があるも、2桁の営業利益率を確保

- 原材料費等の費用増や自動車減産の影響があったが、固定費管理を徹底し、2桁の営業利益率を確保

	2020年度		2021年度	
	2Q	1Q	2Q	前年同期比
売上高	502億円	704億円	<b>693億円</b>	+38.0%
営業利益	25億円	89億円	<b>72億円</b>	+187.2%
営業利益率	5.0%	12.6%	<b>10.4%</b>	+5.4%pts
当期純利益 <sup>1)</sup>	13億円	61億円	<b>58億円</b>	+341.1%
一株当たり 四半期純利益	17.94円	60.10円	<b>57.07円</b>	+218.2%
想定為替	1ドル=110.0円 1ㄱ-□=124.0円	1ドル=106.0円 1ㄱ-□=127.8円	<b>1ドル=107.8円</b> <b>1ㄱ-□=129.8円</b>	1ドル= △2.2円 1ㄱ-□= +5.8円

### 3. 2021年度上期連結業績概要

## 利益水準・利益率は新型コロナ前を超え、上期は堅調な業績

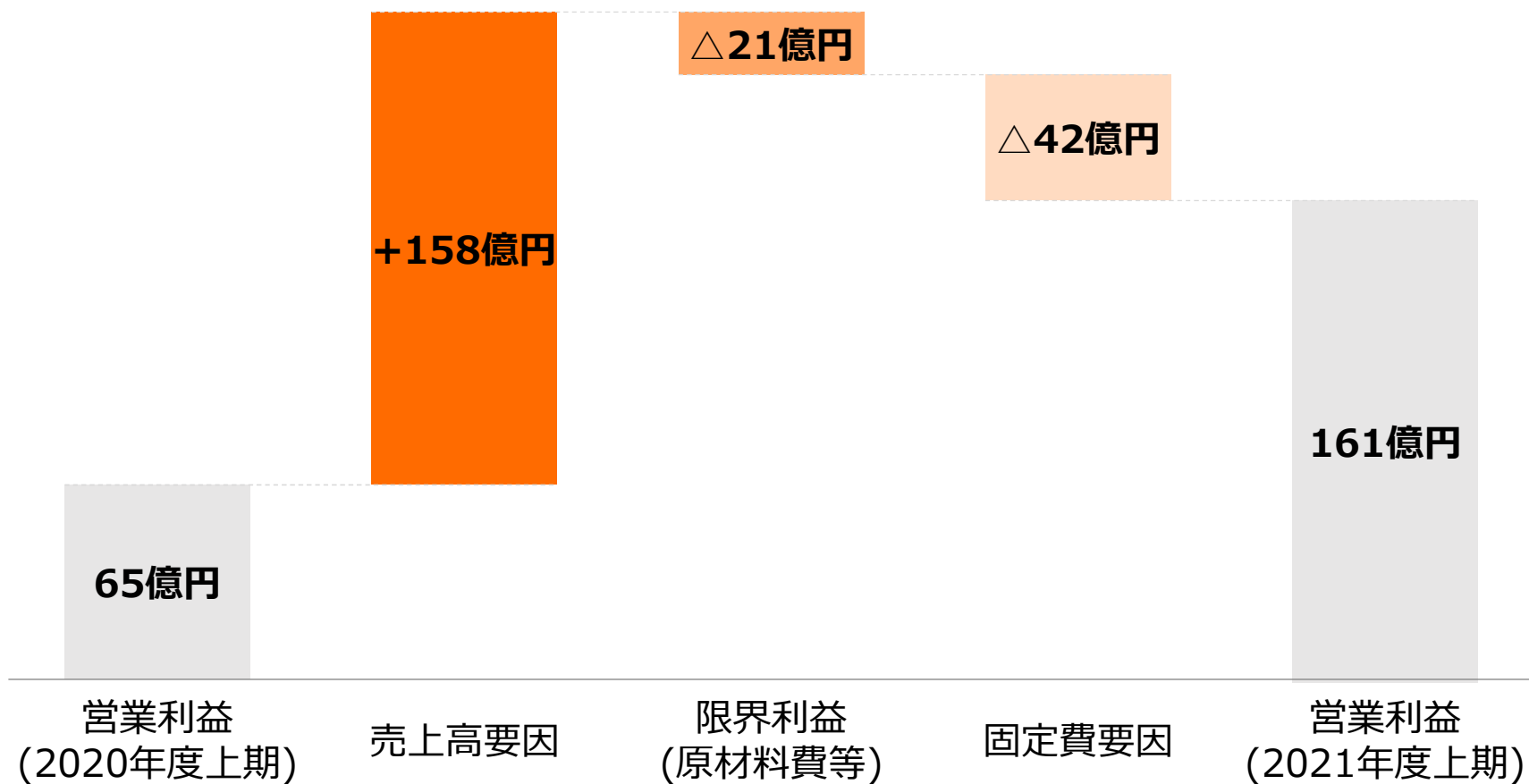
- 新型コロナ前(2019年度上期)に対して売上高未達も、固定費管理の徹底により各利益・利益率では上回る水準を達成

	2019年度	2020年度	2021年度	
	上期	上期	上期	前年同期比
売上高	1,453億円	1,075億円	<b>1,397億円</b>	+30.0%
営業利益	151億円	65億円	<b>161億円</b>	+146.3%
営業利益率	10.4%	6.0%	<b>11.5%</b>	+5.5%pts
当期純利益	97億円	31億円	<b>119億円</b>	+279.0%
一株当たり 四半期純利益 <sup>1)</sup>	90.66円	30.85円	<b>117.19円</b>	+279.9%
想定為替	1ドル=110.0円 1ㄮ-□=124.0円	1ドル=108.2円 1ㄮ-□=119.3円	<b>1ドル=107.8円</b> <b>1ㄮ-□=129.8円</b>	1ドル=△2.2円 1ㄮ-□=+5.8円

#### 4. 2021年度上期連結営業利益(前年同期比較)

### コロナ影響の反動による増収効果で営業利益は前年同期比の約2.5倍

- 新型コロナ後の生産回復による売上高増加が営業利益の増加を牽引
- 生産回復に伴い人件費等固定費が増加しているが予算内で適切にコントロール





## 5. 2021年度セグメント情報(売上高)

# ほぼ全地域で前年同期比増収を達成

- 特に北米・欧州は、前年2Qがコロナによる売上高が底だったため、反動により売上高の増加が顕著

	2020年度(上期)	2021年度(上期)	前年同期比	主な変動要因
<b>連結</b>	1,074億円	1,397億円	+30%	
<b>合成樹脂</b>	961億円	1,261億円	+31%	
<b>日本</b>	296億円	352億円	+19%	
<b>北米</b>	199億円	301億円	+51%	自動車生産台数の増加(1~6月)
<b>欧州</b>	137億円	187億円	+36%	自動車生産台数の増加(1~6月)
<b>アジア</b>	327億円	422億円	+29%	韓国系の好調は1Q・2Qを通して持続
<b>中国</b>	120億円	136億円	+13%	
<b>ヘッド</b>	113億円	135億円	+19%	

## 6. 2021年度セグメント情報(営業利益)

# 全地域で前年同期比増益を達成

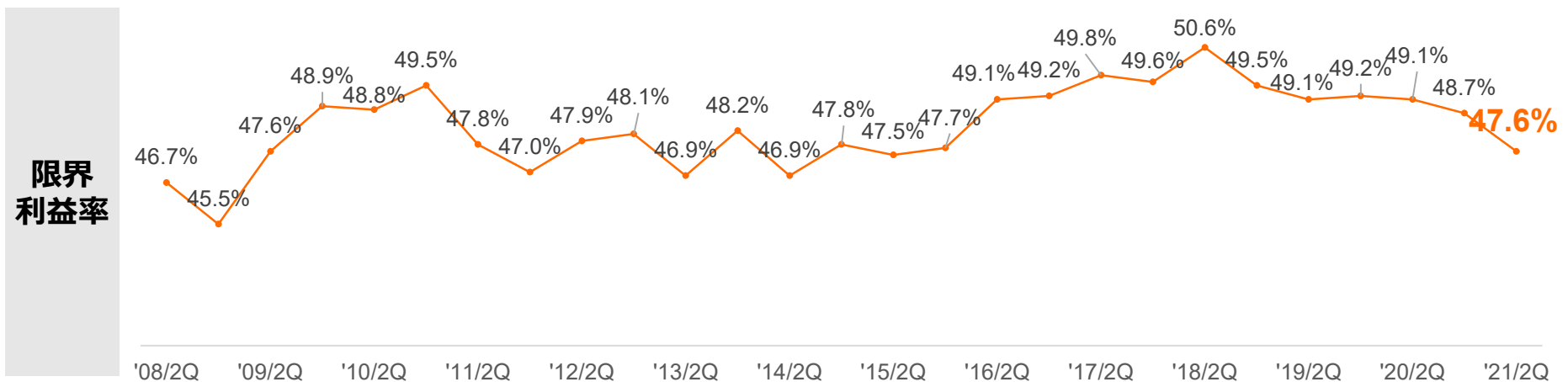
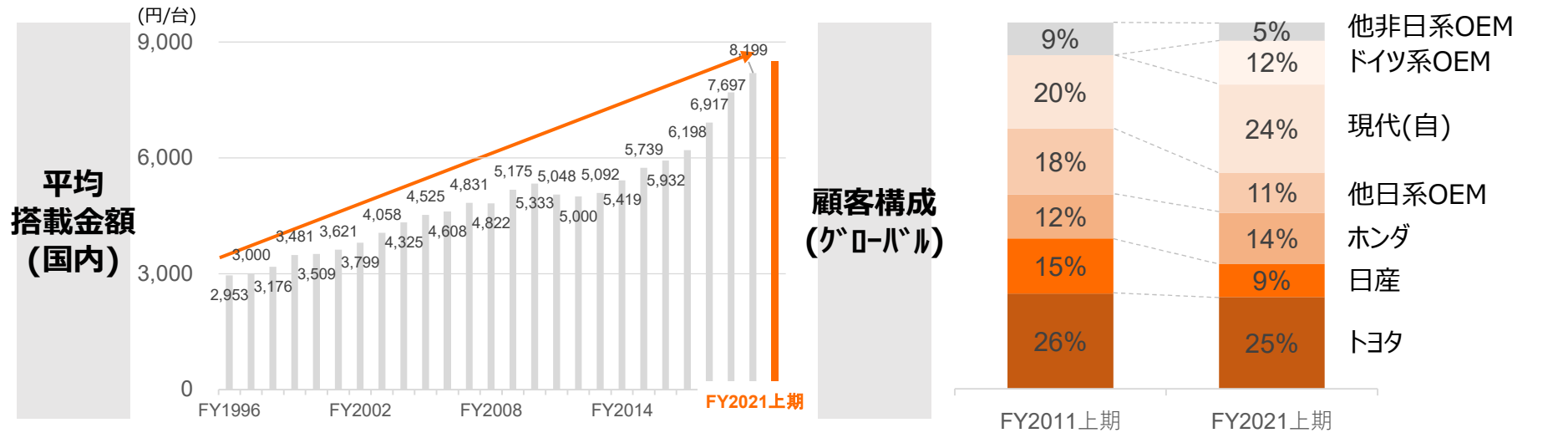
- 北米・欧州は前年2Qがコロナ禍での底だったため、前年上期比での増益が顕著
- 今期2Qは海外で費用増の影響が出ているが、韓国系は中国以外で好調

	2020年度(上期)	2021年度(上期)	前年同期比	主な変動要因
<b>連結</b>	65億円 (6.1%)	161億円 (11.5%)	+146%	
<b>合成樹脂</b>	76億円 (8.0%)	162億円 (12.9%)	+112%	
<b>日本</b>	34億円 (11.5%)	57億円 (16.3%)	+68%	
<b>北米</b>	2.6億円 (1.3%)	12億円 (4.0%)	+354%	1Qの好調な結果が牽引
<b>欧州</b>	△1.0億円 (△0.7%)	14億円 (7.7%)	-	1Qの好調な結果が牽引
<b>アジア</b>	41億円 (12.5%)	79億円 (18.7%)	+92%	韓国系の好調は1Q・2Qを通して持続
<b>中国</b>	11億円 (9.4%)	22億円 (16.5%)	+100%	
<b>ベッド</b>	13億円 (11.3%)	24億円 (17.6%)	+85%	

## 7. 顧客基盤(1台あたり平均搭載金額および顧客構成)

# 平均搭載金額増加と顧客多様化が進展。限界利益率は高水準で推移

- 日系・韓国系・欧州系等幅広い顧客を有し、今期も平均搭載額が増加継続
- 限界利益率は40%台後半で推移。足元は材料費増で低下



1. 2021年度2Q連結業績概要

2. 2021年度業績見通し

3. 中期経営計画見通し

## 8. 2021年度見通し(修正概要)

# 生産台数減・費用増を踏まえ見直しを見直し。配当見込額は据え置き

- 自動車生産台数減少の一方、為替・平均搭載金額動向を踏まえ売上は維持
- 原材料費・物流費の増加に伴い営業利益見込を下方修正

### 2021年度通期見通し

	期首計画	修正計画	期首計画比
売上高	2,800億円	<b>2,800億円</b>	+/- 0%
営業利益	320億円	<b>295億円</b>	△7.8%
営業利益率	11.4%	<b>10.5%</b>	△0.9%pts
当期純利益	210億円	<b>210億円</b>	+/- 0%
一株当たり 純利益	206.8円	<b>207.3円</b>	+0.2%pts
配当金額	62円	<b>62円</b>	+/- 0%

## 9. 2021年度見通し(見立て)

# 依然不確実性はあるが、ボトルネックは11~12月から底打ちの見立て

- 下期以降も依然不確実性のある事業環境ながら、自動車生産台数が11~12月を底に挽回生産の兆しがあり、一過性コストも落ち着く見込み

: 2021年度上期
  : 2021年度下期
 ☀ : 期首見立て通り又は改善
 ☁ : 期首見立てより悪化

自動車事業		2021年			2022年	下期の見立て
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
売上高	国内	☀	☀ → ☁	☁ → ☀	☀	自動車挽回生産が <b>開始・本格化</b>
	海外	☀	☀ → ☁	☁ → ☀	☀	自動車挽回生産が <b>徐々に開始</b>
コスト	国内	☀	☀	☀	☀	-
	海外	☁	☁	☁	☀	<b>変動費が徐々に底打ち 一過性費用の計上終了</b>

10. 2021年度見通し(セグメント毎)

## 生産台数減の影響・費用増の状況を踏まえてガイダンスを修正

- 生産台数減はあるも平均搭載額増加・為替・ベッド事業増収を踏まえて据置き
- 北米の一過性費用等も含めた費用増に伴い営業利益は下方修正

	2021年度(上期実績)		2021年度(当初計画)		2021年度(修正計画)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
<b>連結</b>	1,397億円	161億円	2,800億円	320億円	<b>2,800億円</b>	<b>295億円</b>
<b>合成樹脂</b>	1,261億円	162億円	2,530億円	326億円	<b>2,515億円</b>	<b>298億円</b>
<b>日本</b>	352億円	57億円	770億円	135億円	<b>760億円</b>	<b>130億円</b>
<b>北米</b>	301億円	12億円	600億円	35億円	<b>565億円</b>	<b>14億円</b>
<b>欧州</b>	187億円	14億円	350億円	27億円	<b>330億円</b>	<b>20億円</b>
<b>アジア</b>	422億円	79億円	810億円	129億円	<b>855億円</b>	<b>139億円</b>
<b>中国</b>	136億円	22億円	320億円	44億円	<b>290億円</b>	<b>39億円</b>
<b>ベッド</b>	135億円	24億円	270億円	44億円	<b>285億円</b>	<b>50億円</b>

## 特徴である顧客構成の多様さに加え、供給課題・コスト増には対応徹底

- 自動車生産動向や原材料費等事業環境の不確実性に対して、固定費管理等対応策を徹底。
- また、好調なベッド事業でのカバー等グループ全体でのリスク軽減を図る。

	リスク要素	状況 / 対応
需要	<ul style="list-style-type: none"><li>• サプライチェーン問題に伴う自動車生産調整の長期化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>多様な顧客構成によるリスク軽減</b> (韓国系OEMは堅調、ベッド事業堅調)</li></ul>
供給	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自動車生産回復時の増産対応</li><li>• 海上輸送の需給ひっ迫</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 増産時の<b>生産キャパシティを確保</b></li><li>• グローバルでの最適生産</li></ul>
コスト	<ul style="list-style-type: none"><li>• 原材料費の高騰</li><li>• 原材料供給不足に伴う費用増加(輸送費、代替材等)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>価格適正化の取り組み</b>推進</li><li>• <b>経費削減・固定費管理の徹底</b></li></ul>



## 12. 設備投資と減価償却費

# フリーキャッシュフローは着実に増加する

- キャッシュフロー重視の経営を継続

	2020年度(上期実績)	2021年度(上期実績)	増減	2021年度修正計画
設備投資額	94億円	41億円	△53億円	<b>140億円</b>
減価償却費	65億円	62億円	△3億円	<b>133億円</b>
研究開発費	12億円	13億円	+1億円	<b>30億円</b>
営業CF	176億円	189億円	+13億円	<b>380億円</b>
投資CF	△61億円	△54億円	+7億円	<b>△138億円</b>
フリーCF	115億円	135億円	+20億円	<b>202億円</b>
財務CF	△149億円	△73億円	+76億円	<b>△117億円</b>
現預金残高	838億円	1,042億円	+204億円	<b>1,065億円</b>

1. 2021年度2Q連結業績概要

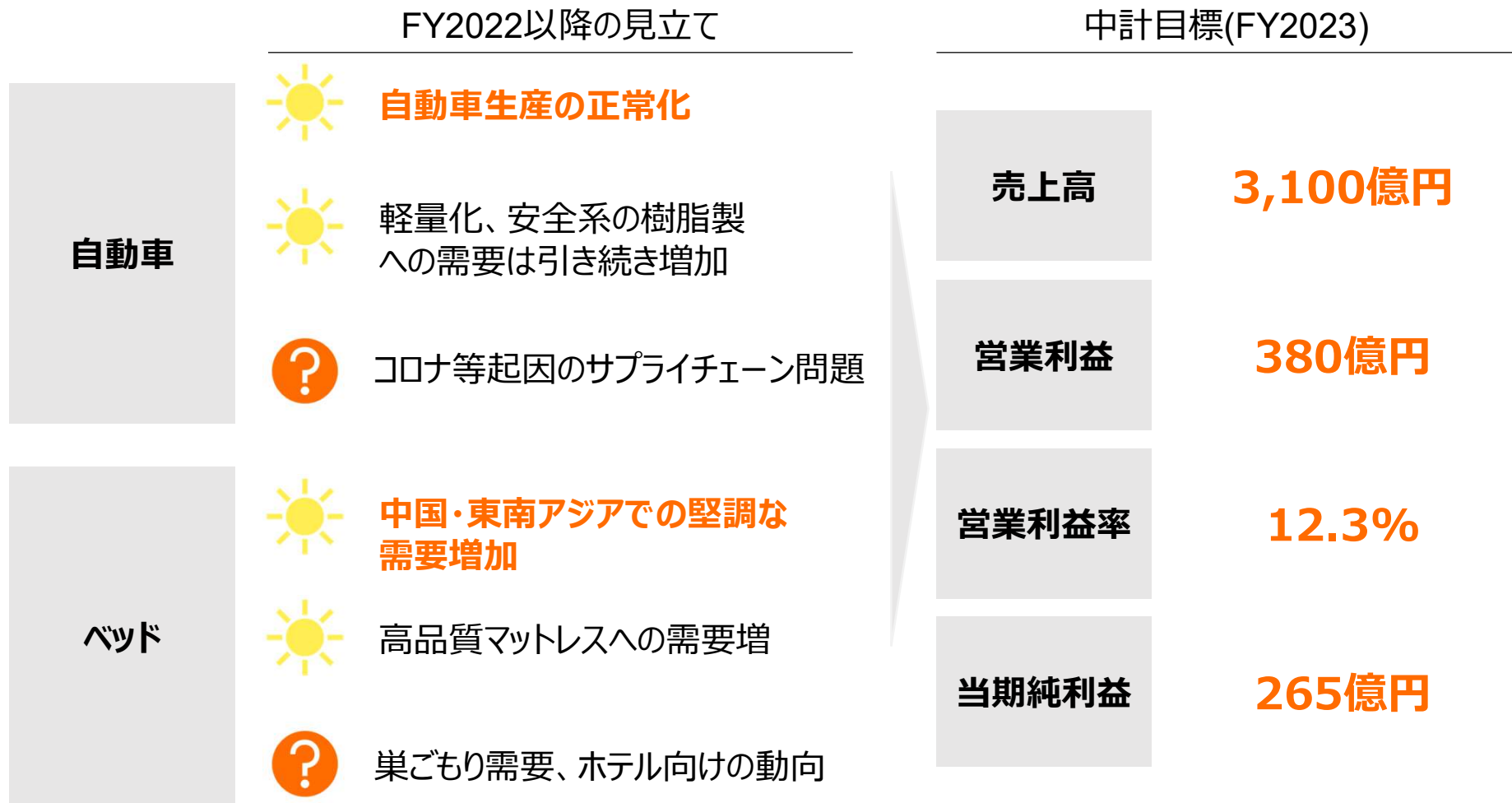
2. 2021年度業績見通し

3. 中期経営計画見通し

### 13. 中期経営計画

## 自動車生産動向の変動はあるも需要は堅調。従来の中計目標を堅持

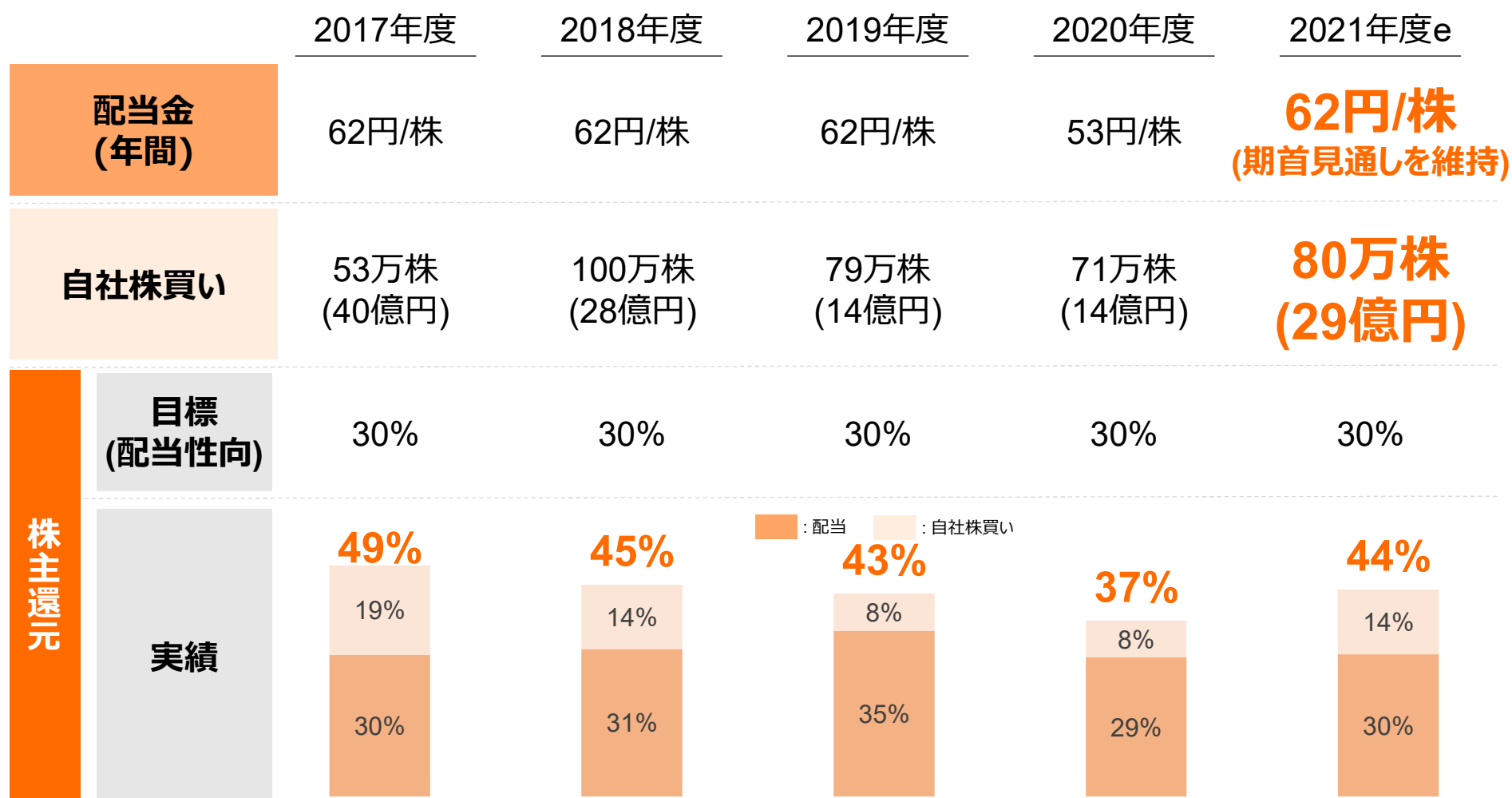
- 自動車部品はFY2023販売車種への営業活動は想定通りの進捗
- ベッド事業は中国・東南アジアで高品質マットレスに対して力強い需要



## 14. 株主還元

# 配当と自社株買いで、株主還元目標の配当性向30%を上回る実績

- 配当性向30%をコミットメントとし、安定配当を実施。
- 加えて、機動的に自社株買いを行うことで、配当性向目標を上回る株主還元を継続的に実現



※当社は2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2017年の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「配当金」を記載しております。

End



本資料に記載されている情報には将来の見通しに関するものが含まれています。これらには現在入手可能な情報をもとにした判断が含まれており、リスクや不確実性が含まれています。今後の経済状況、事業環境の変化などにより将来の見通しが大きく変わる可能性があるため、将来の見通しに関する情報が正確であること、または記載した情報どおりになる事を当社が保障するものではありません。また、これらの情報は投資家の方々へ当社の状況や今後の考え方を伝えることを目的としており、当社株式の売買を勧誘するものではありません。